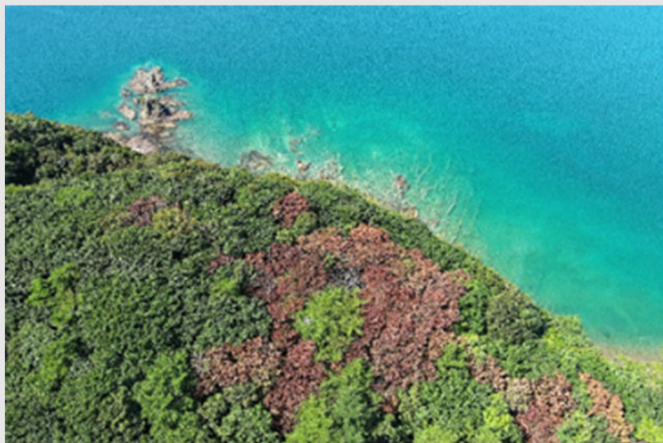


事例 38 ドローンによるナラ枯れ被害の早期把握・早期対策 (東北森林管理局 青森森林管理署)



- ・青森県東津軽郡平内町 ひがしつがる ひらないまち つきとまりやま 月泊山国有林
- ・上空から撮影したナラ枯れ被害
(令和6(2024)年8月)



- ・青森県東津軽郡今別町 いまべつまち ひがしおおかわだいやま 東大川平山国有林
- ・伐倒くん蒸の様子
(令和6(2024)年9月)

青森県では、ナラ枯れが急速に拡大しており、更なる被害拡大を防ぐために速やかな被害把握が求められています。

青森森林管理署では、管内の被害状況の迅速な把握と被害対策を実施するため、ドローンによる被害状況調査を実施しています。

令和6(2024)年度には、目視によりナラ枯れが疑わしい個体(懸念木)が確認された国有林において、ドローンを用いて懸念木周辺を空撮し、広範囲の被害状況を効率的に把握しました。上空からの調査で確認された懸念木については、写真から位置を把握し、その情報を基に範囲を絞って詳細な地上調査を実施しました。こうした調査の結果、被害木として特定された個体については、被害拡大防止のため、伐倒・くん蒸処理を実施しました。

また、この箇所は、周辺地域の国有林で初の被害確認だったことから、被害地図を作成して県や地元市町村へ情報提供を行いました。

同署では、引き続きドローンによる効率的な被害調査を行い、病虫害被害の早期把握と対策に取り組んでいきます。